

COIL型授業

看護学部取り組み



静岡県立大学 看護学部 国際看護学領域

根岸まゆみ 渡邊 順子

開講日程

- 第1回 日本:1/21(月) 9:00-10:30
米国:1/20(日) 16:00-17:30
- 第2回 日本:5/21(火) 13:00-14:30
米国:5/20(月) 21:00-22:30
- 第3回 日本:7/9(火) 13:00-14:30
米国:7/8(月) 21:00-22:30



◆初めてのCOIL型授業 国際看護論 1月21日

科目責任者:根岸まゆみ

本学の看護学部 10名
2年生(選択) 5名
編入3年生(必修) 4名
4年生(聴講) 1名

ポートランド大学看護学部
生(任意参加) 10名
ポートランド大学看護学部
教員3名

Dr. Isabelle Soule (准教授)
Dr. Laura Mood (講師)
Dr. Layla Garriues (講師)

小鹿キャンパス

授業目標

1. Define global health
2. Identify emerging global health issues
3. Discuss the nurse's role in addressing these issues in varied global contexts
4. Compare/contrast the role of the nurse between the U.S. & Japan
5. Identify strategies for getting involved in global health nursing
6. Self-assess interest/knowledge in seeking out opportunities to serve within the area of global health

小鹿キャンパス



奥村副学長

学生の反応 「またCOIL授業に参加したい！」

本学の学生

- ✓米国の教員・学生との関わりは**刺激**になった
- ✓初めてのCOIL体験は緊張したが、面白かった
- ✓米国学生の意見を聞き、看護は**日米共通**なのだと感じた
- ✓もっと**米国学生と話す**時間が欲しかった、など

ポートランド大学の学生

- ✓初めてのCOIL授業は面白かった
- ✓日本語**通訳の間の待ち時間**が勿体なかった
- ✓日本の**教員のプレゼン**もあると良かった
- ✓学生達が日本の学生に合わせていた(順番を待つ、発言を最後まで聞くなど)

第2回：5月21日

国際保健・災害看護論

科目責任者:根岸まゆみ

対象学生：122名

- ・2年生（必修）118名
- ・編入3年生（必修）2名
- ・編入4年生（聴講）2名

オレゴン健康科学大学

看護学部教員

Ruth Tadesse講師

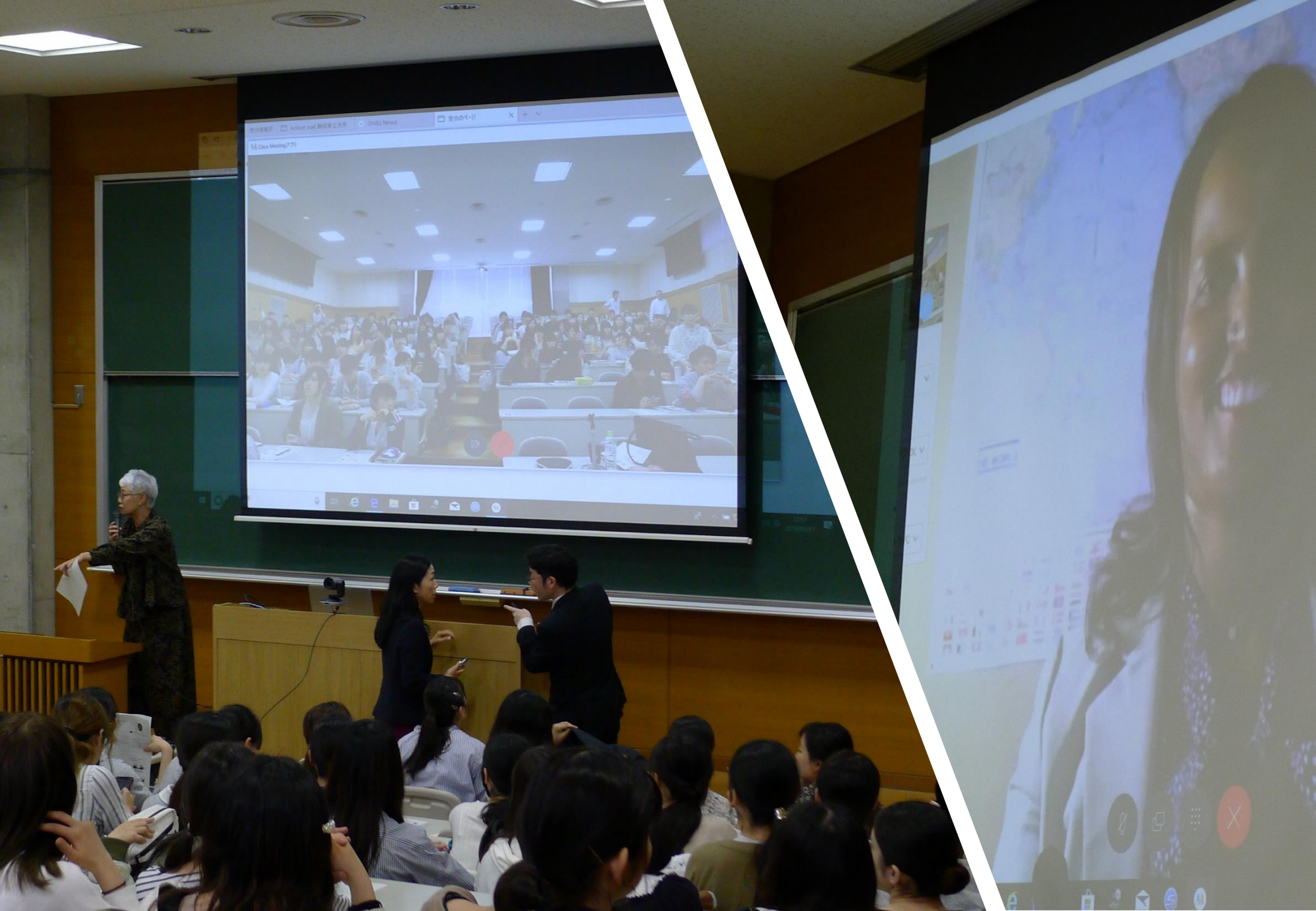
草薙キャンパス



授業目標

- 米国の医療制度の概要を理解することができる
- 米国における医療問題を述べることができる
- 医療のアクセス・質、ケアのコストに関する問題と対策を理解することができる
- オバマケアは米国の医療にどのような影響を及ぼしたか理解することができる
- 日米の医療制度の違いを述べることができる





Outline

- Nursing in the USA
- Healthcare issues in the USA
- Access, Quality and Cost of Care
- Affordable Care Act
(医療保険制度改革、オバマケアとも呼ばれる)



Introduction to US Health Care System: A Nursing Perspective

Ruth Tadesse, MS, RN
University of Shizuoka, School of Nursing
May 21, 2019



- ### Nursing Programs in Oregon
- BSN program – 6
 - ADN program – 17
 - Diploma school – 0
 - Most of the ADN and OHSU programs share the Oregon Consortium Nursing Education (OCNE) curriculum



BSN (Bachelor of Science in Nursing) 学士号 大学の看護プログラム
ADN (Associate's Degree in Nursing) 準学士号 短大の看護プログラム
Diploma School 専門学校のプログラム



Nursing in the USA



- Largest health care group – more than 3.9 million
- Nurses in the US are employed at different settings
 - 61 % - State, local and private hospitals
 - 7 % - Nursing and residential care facilities
 - 7 % - Physician offices
 - 6 % - Home healthcare services
 - 6 % - Government

www.beckershospitalreview.com/human-capital-and-risk/50-things-to-know-about-nurses-in-the-us.html





5月 学生の反応

- 米国の講義をリアルタイムで受けるのは、新鮮で面白い
- 海外と繋がるのはすごい
- 遠い国を近く感じる
- 米国の問題も身近に感じた
- その場で出た疑問点に対し、直接現地の返答を聞けるのが良い
- 海外の人と意見交換することで考え方や視野が広がった
- 医療制度について、日米の違いと類似点を学ぶことができた
- 内容が理解できるか不安だったが、通訳があり良かった
- もっとこちらのリアクションを届けたかった
- もっと米国教員との質疑応答の時間が欲しかった
- 通訳のタイミングが速い
- 将来的にこういった授業が増えほしい



第3回：COIL授業

7月9日 災害看護論

科目責任者:根岸まゆみ

対象学生：122名

- 2年生（必修）118名
- 編入3年生（必修）2名
- 4年生（聴講）1名
- 他校の看護学生1名

ポートランド大学看護学部教員1名

- Dr. Laura Mood 講師

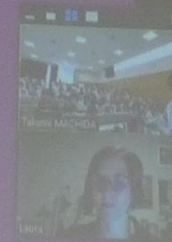
授業目標

- Define the meaning of refugee.
- Assess refugee experiences and factors impacting their mental well-being.
- Describe the nurse's duty in serving refugees in disasters/crises in under-resourced settings.
- Analyze the use of trauma-informed care principles in cross-cultural settings.

South Sudanese: A refugee population in crisis

Nursing practice in an under-resourced setting - West Nile, Uganda

Presented by Laura Mood, PhD, MSN, RN
Humanitarian Volunteer, Medical Teams International
Assistant Professor of Nursing, University of Portland





学生の反応

- 参加型の授業で、いつもより集中して緊張感を持ち取り組めた
- 前回より、米国教員と直接話す機会があり良かった
- スライドが見やすかった、通信が途中で途切れず快適だった
- 日本に居ると想像できない難民の現状・苦悩について学ぶことができた

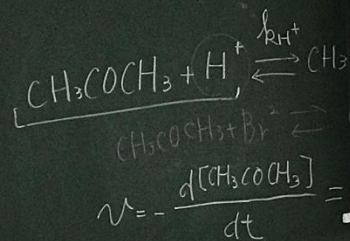
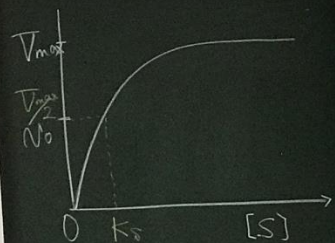
Study 1: Malek & Priscilla

A male child (Malek) has been brought by his 14-year old sister to a clinical in the refugee settlement. The child was discharged yesterday following 10 days of inpatient treatment for 3rd degree burn on his arm, hand, & fingers. Today, the child is here to receive a follow-up to the burn site by the nurse. Malek was born in the refugee settlement. Priscilla migrated with their mother to Uganda in 2012. She has been sick with flu.

Assessment of this situation?

What are the risks for Malek and Priscilla related to this procedure and their present-future ability?

What measures does the nurse have to minimize these risks?



COILによる看護シミュレーション教育

- ✓ 模擬患者やシミュレータによる模擬診察や模擬患者の問診などの医療コミュニケーションの映像を、日米で同時に視聴し、日米の学生がどのように考え、行動するかを議論し学びを共有する。
- ✓ 日米の看護／看護教育の特色を理解する

シミュレーション教育のプロセス

- 1) 事前学習：学習目的・目標に沿った内容の事前学習と技術練習
- 2) Briefing：学習目標の確認、シミュレーション ルームや
シミュレータなど利用する教材や環境の確認
- 3) Simulation：擬似的な学習環境下で実際に課題を行う
- 4) **Debriefing**：行ったシミュレーションを目標に沿って振り返る
学習者がガイドラインや資料を用いて、行った行動の裏付けとなる知識を確認したり、不確かな知識を再度学習する。学習者同士のディスカッションで学習を進めていくもので、シミュレーション教育では、このセッションが一番重要
- 5) 学習評価：評価のための知識テスト
シナリオを評価するなど

ポートランド大学看護学部
シミュレーションセンター
Simulation Health Center in
University of Portland



University
of Portland



ほとんどの学習は
デブリーフィングの中で行われる
**Most learning happens in
debriefing.**



静岡県立大学看護学部 看護技術実習室 Room for Skills Labs in University of Shizuoka



コミュニケーション技術演習 Practicing Communication Skills



静岡県立大学看護学部 シミュレーションセンター Simulation Center in University of Shizuoka

↑
シミュレーションセンター
Centre for Healthcare Simulation





看護技術演習
Skills lab

思考だけでなく行動する
理論と実践の統合

**Not just thinking but doing.
Integrating theory with
practice!**





シミュレーション 教育の魅力

- 何度も繰り返し学習できる
- 試しが可能
- reflectionが可能
- 資格は不要で誰でも可能
- 均一の条件で学習できる
- 患者へのリスクがない
- 学習者の安全が保障される



COILを活用した 看護教育の課題

- 言語の違い
- 時差の問題
- 学習進度の違い
- 使用する医療器材の違い
- COILに関連する機器の違い
- シミュレーションシナリオを
誰がどのように作るか？
- 教育評価の方法は？